広報はりま　発行／播磨町役場　〒675－0182（個別番号）　兵庫県加古郡播磨町東本荘1丁目5番30号　TEL 079（435）0355　FAX 079（435）0609　編集／企画グループ　印刷／明光印刷㈱
播磨町のホームページアドレス http://www.town.harima.lg.jp
〃 Eメールアドレス kikaku@town.harima.lg.jp

平成20年度 郷土資料館特別展

「ジョセフ・ヒコ」 Joseph Heco

播磨町で生まれた「新聞の父」ジョセフ・ヒコが
1858年にアメリカの市民権を得てから、今年で150周年となります。

⑦ 蓮花寺の「横文字の墓」

今月は、ジョセフ・ヒコが播磨町に残した唯一の足跡を紹介しましょう。
町内にある蓮花寺にジョセフ・ヒコがつくった「横文字の墓」があります。

▲蓮花寺の「横文字の墓」
日本の墓石に英文が彫られています

【ヒコ・クイズ】　この墓はだれの墓でしょう。

① ジョセフ・ヒコ自身の墓　② ジョセフ・ヒコの友人の墓　③ ジョセフ・ヒコの両親と家族の墓

ジョセフ・ヒコは、播磨町に1868年、1870年、1871年の3回戻っています。その中で一番詳しく記録が残っているのは、1回目の1868年8月7日（慶応4年6月19日）です。それまでは、「攘夷（じょうい）」の嵐を避けて、遠くに出掛けるのは控えていました。いよいよ新しい時代となるこの年、この地域の知事だった伊藤博文の許可のもと、数人の従者と数人の友人とともに播磨町へ帰ってきます。

そのときのようすを『自伝』では、「おお、何たること！」から始まり、家々の貧しさを語り、また、だれもが振り返るとき思う道の狭さについて、「子どものころ大きかった街路も、どこにでもある普通の道ではないか」と記しています。さらに、物見遊山の群集を「嫌なもの」とし、最後に、「余り楽しくなかったので、滞在を早く切り上げることにした」と、心の落差を直接に表現しています。

それでも、両親への感謝の気持ちは大切にして、1870年には、「両親と家族の墓」と背面に英文で書いたものを注文し、1871年には、姫路に行った後、お墓の除幕式のために寄っています。このときは「錦を着て故郷へ」と記録しています。

以後、播磨町に寄った記録はありませんが、心の寄る辺になっていたのでしょう。1879年、妻の氏名を郷里の名を用いて「浜田鋹子（はまだちょうこ）」として、家を再興しています。

※引用は『アメリカ彦蔵自伝2』平凡社より
（郷土資料館　田井恭一）

クイズの答
③ ジョセフ・ヒコの両親と家族の墓

【問い合わせ】郷土資料館　☎079（435）5000
絵ものがたり『ジョセフ・ヒコと洋式帆船の男たち』（播磨町ふるさとの先覚者顕彰会）発売中2,500円

町の人口 9月1日現在（住民基本台帳人口＋外国籍人口）
34,272人（－33人）　男…16,808人（－10人）　女…17,464人（－23人）　世帯数…13,347（－3）

PRINTED WITH SOY INK
Trademark of American Soybean Association